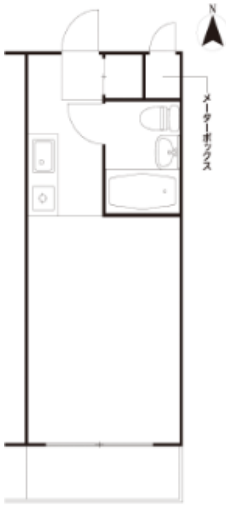
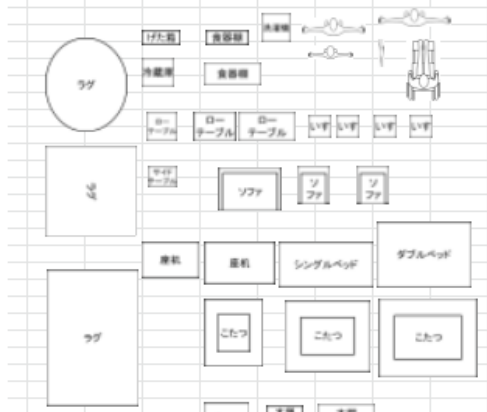


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立真庭高等学校落合校地	
実践者等		島田 桃花	実践日 令和4年5月11日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		家庭総合・家庭基礎「経済生活」「住生活」	
対象生徒(学年等)		1年生	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用	
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化	
		☐ その他 ()	
家庭学習		☐ 振り返り ☒ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 (1) 前回の振り返り・本時の目標確認 理想のインテリア作成を通して平面図表示記号を理解し、 平面図から空間や生活を読み取ることができる。			
(2) 課題を提示 - ICT 教材を活用して、スプレッドシートで将来住みたい部屋をイメージしながらインテリアを作成させる。 - 家具家電の値段を調べさせる。 - Google ドキュメントを活用して、発表資料をまとめさせる。			
(3) 本時の振り返り - ワークシートによる自己評価 - 教員によるまとめ - 次の授業の確認			
 * 左の間取りに家具を設置する。 * 下図以外に使いたい家具があれば、名前の変更や新しく図を追加して * 多少のサイズ変更は可だが、あまり小さくしすぎないように注意。 実際の家具の大きさをイメージする。 			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) ・事前にインターネットで作成したいインテリアのイメージ画像の収集 (本時後) ・作成した平面図をレポートにまとめ、発表準備をさせる。 ・理想のインテリア作成の部屋探しの条件として、重視することを Forms でアンケートをとる。→次回授業時に Forms を活用し、一人暮らしにかかる費用や重視しなければならない条件などを確認させる。			